



TAKEUCHI



株式会社竹内製作所
2010年2月期 第2四半期
決算説明資料

証券コード：6432

2009年10月23日



I. 10年2月期 第2四半期決算概要

II. 10年2月期 見通し

III. 今後の市場見通しと重点取組み

[参考]: 売上高、経常利益率の推移

◆ポイント

世界経済の急速な減速を受けて欧米の需要は大幅に減少

- 販売台数は、**70.3%減**（対前年同期）
 - ・中国の出荷は受注増に伴い増加
- 連結売上は、**70.7%減**（対前年同期）

売上高の減少及び操業度縮小により売上原価率が上昇

- 粗利率は、**17.7%**（対前年同期▲4.2%ポイント）
- 経常利益は、**79.3%減**（対前年同期）

I. 10年2月期 第2四半期決算概要

TAKEUCHI

◆ 連結業績

(百万円)

	10/2上期 実績		09/2上期 実績	対前年同期 伸び率	10/2上期 期初予想	対期初予 想 増減額
売上高	10,454		35,679	▲70.7%	10,300	154
営業利益	▲31		3,965	—	▲420	389
経常利益	817		3,944	▲79.3%	▲310	1,127
当期利益	885		2,439	▲63.7%	▲540	1,425
設備投資額	134		1,650	▲91.9%		
減価償却費	472		487	▲3.1%		
為替レート	1Q	2Q				
円 / 米ドル	95.20	96.76	104.61		98.00	
円 / ポンド	135.77	152.77	207.72		140.00	
円 / ユーロ	123.20	133.45	161.55		130.00	
円 / 人民元	13.92	14.17	14.92		14.00	

I. 10年2月期 第2四半期決算概要

TAKEUCHI

◆ 地域別売上高と受注高

(百万円)

	10/2上期		09/2上期		対前期 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
日本	464	4.4%	1,029	2.9%	▲565
北米	2,187	20.9%	10,121	28.4%	▲7,934
欧州	6,317	60.5%	22,188	62.2%	▲15,871
その他	1,485	14.2%	2,340	6.5%	▲855
売上高	10,454	100.0%	35,679	100.0%	▲25,225
海外売上高	9,990	95.6%	34,650	97.1%	▲24,660
受注高	11,694		33,559		▲21,865
受注残高	4,085		10,282		▲6,197

(※)受注高及び受注残高は、建設機械事業

I. 10年2月期 第2四半期決算概要

◆ 所在地別セグメント情報

(百万円)

		10/2上期	09/2上期	対前期 増減額
日本 (本社)	売上高	4,476	15,644	▲11,168
	営業利益	▲545	2,473	▲3,018
北米 (米国)	売上高	2,192	8,359	▲6,167
	営業利益	123	487	▲364
欧州 (英国、フランス)	売上高	2,695	10,482	▲7,787
	営業利益	80	492	▲412
アジア (中国)	売上高	1,089	1,192	▲103
	営業利益	▲21	▲99	78

I. 10年2月期 第2四半期決算概要

◆ 連結貸借対照表

(百万円)

	10/2上期	構成比	09/2期末	構成比	対前期末 増減額
流動資産	28,395	75.1%	29,576	75.8%	▲1,181
現金及び預金	4,555		3,060		1,495
受取手形及び売掛金	6,093		6,098		▲5
たな卸資産	16,011		18,344		▲2,333
固定資産	9,407	24.9%	9,416	24.2%	▲9
資産合計	37,802	100.0%	38,992	100.0%	▲1,190
流動負債	7,434		9,580		▲2,146
支払手形及び買掛金	3,326	19.7%	4,268	24.6%	▲942
短期借入金(1年内長期含む)	2,708		3,966		▲1,258
固定負債	298		1,310		▲1,012
長期借入金	—	0.8%	1,000	3.4%	▲1,000
負債合計	7,733	20.5%	10,891	27.9%	▲3,158
純資産合計	30,069	79.5%	28,101	72.1%	1,968
負債純資産合計	37,802	100.0%	38,992	100.0%	▲1,190

I. 09年2月期 第2四半期決算概要

TAKEUCHI

◆ 連結キャッシュフロー計算書

	10/2上期	09/2上期	(百万円) 増減額
営業キャッシュフロー	3,877	▲2,455	6,332
投資キャッシュフロー	▲138	▲297	159
財務キャッシュフロー	▲1,807	973	▲2,780
現金及び同等物に係る換算差額	52	233	▲181
現金及び同等物の増減額	1,984	▲1,546	3,530
現金及び同等物の期末残高	4,404	4,037	367

◆ 緊急収益改善策の効果

【1】内作取り入れによる外注加工費の削減

- ・溶接、機械加工の内作取り入れを実施

【2】経費見直しによる削減

【3】生産ラインの統合

- ・2009年1月にラインの統合を完了

【4】人件費削減、希望退職者募集

- ・役員報酬の減額、従業員給与の減額、希望退職者の募集、派遣社員等の削減、残業抑制等により、上期の人件費は対前年同期比9億円削減

◆ 業績見通しのポイント

① 需要動向

- 米国、欧州とも景気後退及び住宅投資の低迷により需要は上期比、微増にとどまる
- 中国は政府の大規模な経済対策効果により内需が拡大し販売台数は増加するが、主要市場である北米及び欧州の減少幅が大きく、販売台数は前年比5割減の見通し

② 利益見通し

- 効率向上、内作取込み、海外調達強化等を進めるものの、需要の低迷と為替が円高に推移する予想から、通期では営業損失の見通し

Ⅱ. 10年2月期の見通しについて

TAKEUCHI

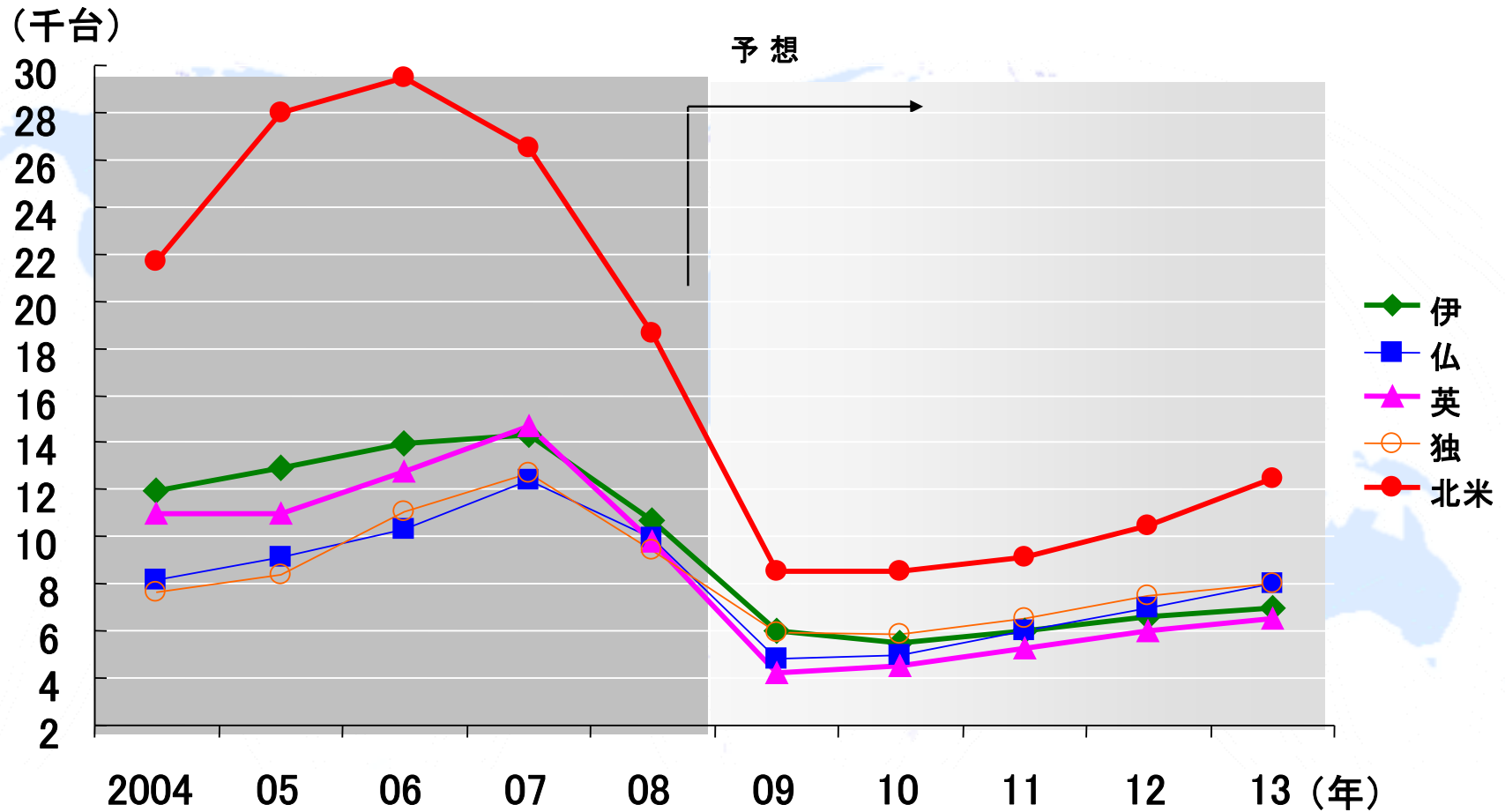
◆ 連結業績

(百万円)

	10/2期				09/2期	
	通期予想	前年比 伸び率	(上期実績)		実績	
			1Q	2Q		
売上高	22,300	▲57.5%	10,454	11,846	52,424	
営業利益	▲580	—	▲31	▲549	5,000	
経常利益	40	▲94.4%	817	▲777	714	
当期利益	▲10	—	885	▲895	▲1,492	
設備投資額	234	▲88.2%	134	100	1,979	
減価償却費	924	▲11.9%	472	452	1,049	
為替レート						
円 / 米ドル			95.20	96.76	90.00	102.81
円 / ポンド			135.77	152.77	148.00	190.58
円 / ユーロ			123.20	133.45	133.00	152.07
円 / 人民元			13.92	14.17	13.30	14.84

Ⅲ. 今後の市場見通しと重点取組み

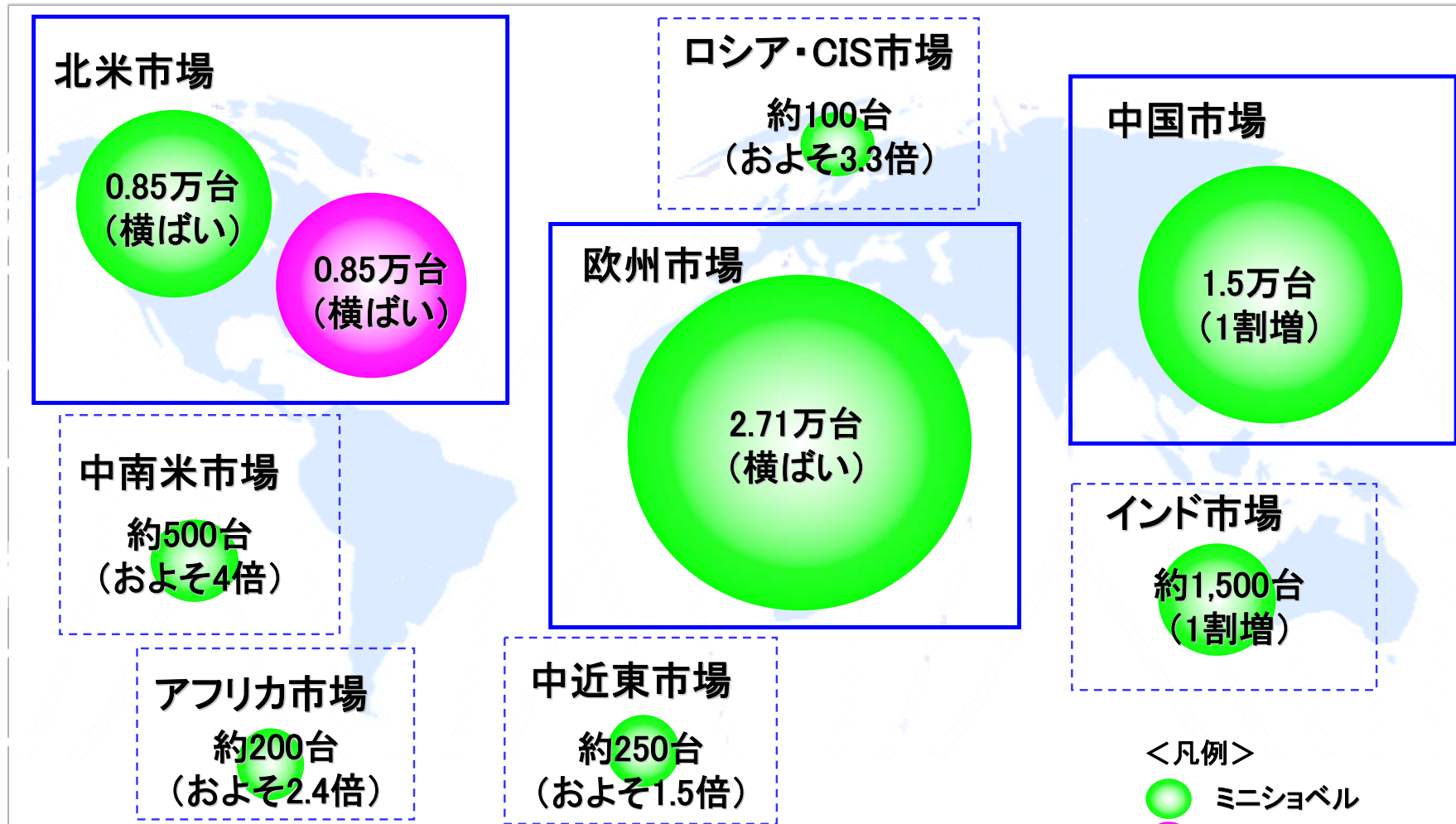
◆ 先進国のミニショベル市場：底入れ後も、需要回復は鈍い



(出所) Off-Highway Research (09年7月末時点)

Ⅲ. 今後の市場見通しと重点取組み

◆ 2010年の市場見通し 概観(カッコ内は前年比伸び率)



(出所) Off-Highway Research、Yengst Associates、中国工程机械連合会等
欧州、北米はミニショベル(6トン未満)市場、その他は14トンクラスまでの市場

<凡例>

● ミニショベル

● クローラーローダー

Ⅲ. 今後の市場見通しと重点取組み

TAKEUCHI

◆ 豊田通商との資本業務提携による新興国市場開拓

市場動向

市場開拓活動

中
南
米

- ▶ 小型、中型機の需要増を見込む
- ▶ リオのオリンピック需要も今後期待

- ▶ デモ機の市場投入(3機種)
- ▶ 販売ルート構築

I
ア
ロ
・
S
C
シ

- ▶ 世界金融収縮による影響大きい
- ▶ 潜在需要はあるが原油価格に影響されやすい
- ▶ 最近、回復の動きが出はじめた

- ▶ 販売網の整備
- ▶ 潜在需要が小型及び中型機にあるため一層の拡販努力を継続
- ▶ クローラーローダーの市場開拓の推進

ア
ジ
ア

- ▶ 小型、中型機の需要拡大を見込む

- ▶ インド、インドネシア市場への展開
- ▶ クローラーローダーの市場開拓

Ⅲ. 今後の市場見通しと重点取組み

TAKEUCHI

◆ 製品開発：環境対応機種に注力

【1】リチウムイオンバッテリー式ミニショベル

- ・2006年4月に開発し、世界各地で高評価
- ・2011年にモニター機を発表、2012年から量産、発売開始へ

- 小型ミニショベルでは、電池式が求められている
(中・大型機ではハイブリッド機が選好される傾向)
- 欧州市場では、リチウムイオンへのニーズが圧倒的

< TAKEUCHI 製品の特長 >

- ・排気ガスを出さないため換気設備が不要
- ・高いエネルギー効率(対ディーゼルエンジン仕様の約2倍以上、当社比)
- ・電気ケーブル不要、短時間の充電で長時間の稼働が可能
- ・エンジンオイルやエレメント交換が不要で、保守費用と産業廃棄物が低減
- ・ランニングコストの削減(対ディーゼルエンジン仕様の1/5程度、当社比)
- ・電動モータ駆動により低騒音、低振動を実現

環境省 平成21(2009)年度 地球温暖化対策技術開発事業
省エネ対策技術実用化開発分野での委託事業

TAKEUCHIの
強みを最大限に発揮



注)CG(コンピューターグラフィックス)画像です。

Ⅲ. 今後の市場見通しと重点取組み

TAKEUCHI

◆ 製品開発：環境対応機種に注力

【2】ホイール式16トン機、TB1160Wの開発

- ・欧州市場向けに10月より生産開始

【3】中国市場向け製品の開発、ラインアップの充実

- ・4トン、7トン、13トンクラスの製品を生産中
- ・12月に中国専用機の6トンクラスの製品を生産開始

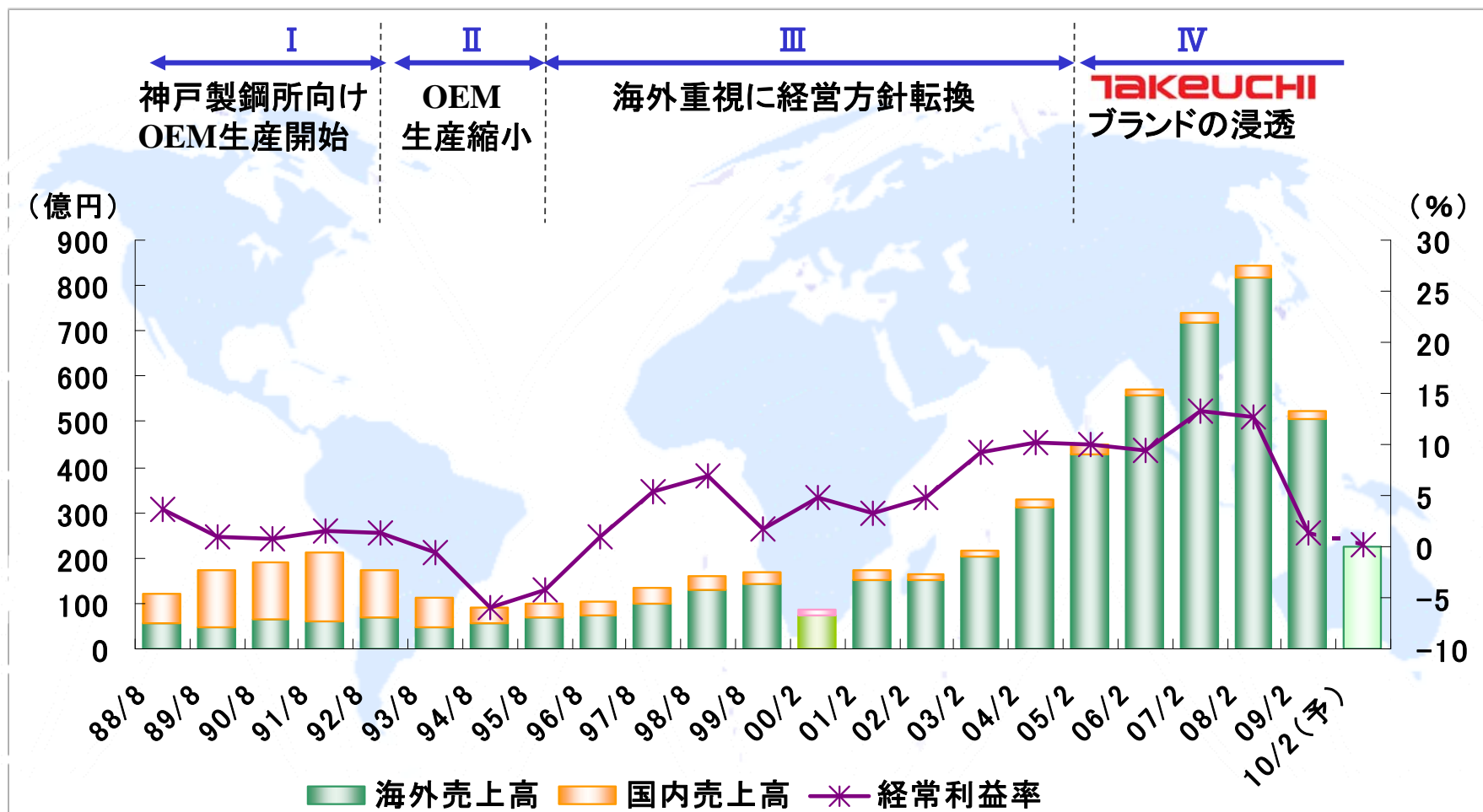
【4】第4次排ガス規制対応機種

- ・2012年からの 大型機(当社製品)適用に合わせてモデルチェンジ
- ・2013年からの 中型機(当社製品)適用に合わせてモデルチェンジ



TB1160W

[参考]売上高、経常利益率の推移



(注) 00/2は6ヶ月決算、01/2以降は連結ベース

お問い合わせ先

株式会社 竹内製作所

総務部

TEL:0268-71-8001

FAX:0268-81-1127

E-mail:ir@takeuchi-mfg.com

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、為替レートの変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。